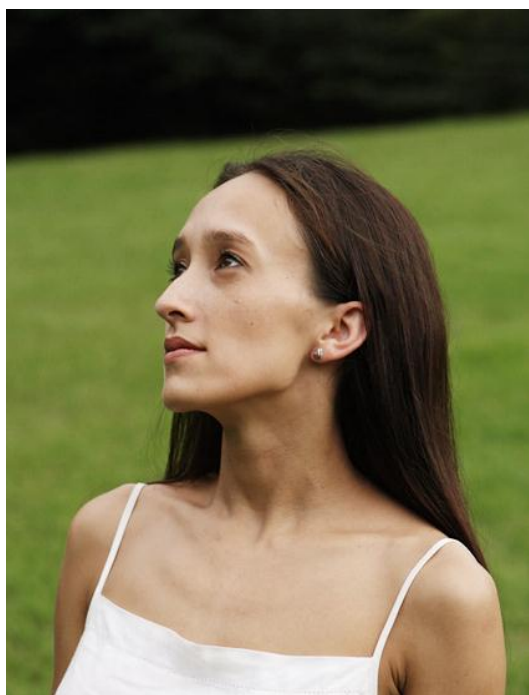




ダンサー/振付家

キミホ・ハルバート |

Kimiho Hulbert

ベルギー生まれのイギリス人。5歳より岸辺光代のもとでバレエを始め、アントワープバレエ学校（ベルギー）を経て、94年コロラドバレエ団（アメリカ）入団。97年帰国後は、新国立劇場バレエ団入団（97～09年）。1999よりフリーとして日本バレエ協会公演などで活躍する一方、振付家としての活動を開始。01年自身で振付・演出を手がけ、ダンサーとしても参加する『UNIT KIMIHO』結成。

07年 UNIT KIMIHO 初の自主公演「GARDEN OF VISIONS」を開催後、オン★ステージ新聞アンケートによる新人振付家ベスト1に選出される。09年青山円形劇場にて「White Fields」。10年トヨタ コレオグラフィアワード 2010 オーディエンス賞受賞。2012年「MANON」、「Beauties and Beasts」初演。カンパニー活動の他、日本バレエ協会、NBA バレエ団、新国立劇場（オペラ、バレエ団、バレエ研修）、青山劇場公演等で作品を上演。堤幸彦監督映画「溺れる魚」の振付、劇団昴「夏の夜の夢」、新国立劇場オペラ「軍人たち」、振付（演出：Willy Decker）、ミュージカル「Bonnie and Clyde」、「The Club」振付、Johnson and Johnson CM、アンジェラ・アキ PV 等、舞台以外でも振付活動を行い、海外では韓国、ベルギー、オランダなどにも招待され作品を発表している。また、若いダンサーの育成にも力を入れ、コンテンポラリークラスやコンクールバリエーション振付を担当。現在はクラシックバレエとコンテンポラリーバレエの両方踊るダンサー&振付家として日本で活躍中。